

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(335)(HP 収載)

—ヴェルディの《椿姫》—

1. 始めに

前報(334)に引き続き、STAGE+のヴェルディの《椿姫》の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(334)に引き続きヴェルディの《椿姫》の演奏を選びました。

シェラ&コステロ主演、ヴェルディの《椿姫》

メトロポリタン歌劇場

収録日: 2022年11月5日

メトロポリタン歌劇場の2022~23年シーズンにおいて、ナディーン・シェラはソプラノの試金石とも言える役柄、ヴェルディ不朽の悲劇《椿姫》の娼婦ヴィオレッタ・ヴァレリーを演じました。この映像は、同劇場の「ライヴ・イン・HD」シリーズの一環として収録されたものです。シェラがマイケル・マイヤーによる躍動的な演出で主演を務め、熱烈で軽率なヴィオレッタの恋人アルフレードを歌うスティーヴン・コステロ(テノール)、確固たる決意から二人の人生を引き裂く父ジョルジオ・ジェルモン役のルカ・サルシ(バリトン)と共に演。ミラノ出身の指揮者ダニエレ・カッレガーリが旋律美と悲痛さが共存するヴェルディの見事なスコアに命を吹き込みます。

ソリスト:

ナディーン・シェラ(ソプラノ)、スティーヴン・コステロ(テノール)、ルカ・サルシ(バリトン)、Siphokazi Molteno(メゾソプラノ)、Jeongcheol Cha(バスバリトン)、Brian Major(バリトン)、ポール・コロナ(バリトン)、Jonah Hoskins(テノール)、イヴ・ジリヨッティ(メゾソプラノ)、パトリック・ミラー(テノール)、Jonathan Scott(バリトン)

演奏:

メトロポリタン歌劇場合唱団、メトロポリタン歌劇場管弦楽団、メトロポリタン歌劇場バレエ団

指揮:

ダニエレ・カッレガーリ

曲目:

ジュゼッペ・ヴェルディ 歌劇《椿姫》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

2022 年のメトロポリタン歌劇場での収録です。

当代の人気ソプラノ歌手ナディーン・シェラのヴィオレッタ役が聴きどころで、冒頭の乾杯の歌のシーンから、ジェルモン役のサルシとのやりとりを経て、終章の悲劇的結末まで、圧倒的な歌唱力を披露します。また、アルフレード役のコステロとジェルモン役のサルシもシェラと息のあった歌唱を聴かせます。2 幕終章の合唱も迫力があります。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、ヴィオレッタ役のシェラの圧倒的な歌唱やアルフレード役のコステロ とジェルモン役のサルシもシェラと思のあった歌唱を聴かせてくれ」ます。

以上